

0172

第三百十五師団作戦記録

井上敬助

陸軍

0998



第四其の他

一、在留邦人、開拓団、家族の状況

管内の一般邦人は開戦當初所在の客車、貨車を利用して牡丹江以南に避難せしめ開拓団員も多くは縣長等の指導すに由り後退したるも、鉄道沿線より遠隔せる地に居住しありたる一般邦人及開拓団員は列車を利用すること能はず陸路東安方面より後退するの余儀なきに至れり

徒歩後退せる者は途中滿人或は滿軍の叛亂部隊の拘略奪、暴行、虚殺等殘忍なる行為を受け多數の犠牲者を出せるもの、如し又勅利、林口附近に辿りつきたる者も、掖河方面既に戦場となりありし為林口西方二道河子附近に牡丹江を渡河し山林地帯を彷徨して、牡丹江市、横道河子、一面坡方面に進出せしもの、如し其の多くは着用の少着用のまゝ、金銭、糧秣を所持せず滿鮮人の畑の野菜と一もろこし等を生食して辛うして生命をつなぎ或は滿鮮人に暴行、虚殺せられ或は亂如兇を親の手にて殺し又は滿

8410

年足まといの

書

主

鮮人に與へ或は婦人にして滿人の妾となる等慘狀言語に絶する状能なり

管内には多數の開拓團あり二十年の秋には寧安附近に移動せしむる予定なりしか其の實施を見おしてソ軍の冬移住となれり軍人家族は八月九日朝より先づ東安附近の家族より列車にて教化方面に逐次後退せしめたり

### 二、滿洲國軍の状況

滿洲國軍の一部(空清駐屯の部隊)は日本軍指導の下に麻山の前進陣地構築に協力しありたるがソ軍参戦とともに叛亂し又勅利駐屯の滿軍部隊も叛亂し師長以下日系將校は遂早く部隊を離れざるべからざる状況とを洩り

此等滿軍叛亂部隊は徒歩にて避難難する一般邦人、開拓團員に対し略奪、暴行、虐殺等凡ゆる踐虚行為に及べり

第五 觀察

一、ソ軍の戦法

1. 優勢なる機甲部隊を以て敵陣地の弱点を突破し該突破口より遮二無二穿貫的に敵陣地深く楔入し突破孔兩側地は狙撃部隊等を以て處理せしむ高此の突破と併行し一部の機甲部隊を以て敵翼の包圍攻撃、迂回を策す
2. 突破作戦に使用する戦車は機動性、攻撃力、防衛力に於て最も調和のとれたる T34 級の中戦車を主体とす
3. 戦車動作中攔坐せる戦車は勉めて現場に於て速急に修理を施し戦車に参加せしむ之が為修理要員の如きもの戦車に搭乗しあり
4. 戦車に跟随する歩兵は我が肉攻を封殺する為自動短銃等を以て附近を掃射し肉攻兵の殲滅を図る又戦車の進路附近に潜伏せし我が守兵は一兵と雖も射殺す
5. 國境陣地等堅固なる陣地に對しては正面より力攻するることなく中間地をより侵入して四周を包圍し主として北背後より

5410

陸軍省

之を攻略す

6. ソ軍は白兵に弱し例へば我が陣地至近距離に近迫するも  
一兵と雖も宇兵の存在する限り敢て突撃せず凡ゆる火器  
を用ひ之を殺戮したる後陣地に突入す

久近戦に拙なり例へば

晝間我が陣地至近距離に近迫し今一息の所に達するも夜  
に入ると適宜後退して明日を待つ状態なり反面我が夜  
襲を極度に警戒しある状顕著なり従つて夜暗を利  
用せばソ軍より離脱は比較的容易なり

8. ソ軍砲兵の射撃は所嫌はず撃ちまくる式なるも弾薬  
豊富なるを以て其の威力は大なり

7. 歩兵の射撃に於ても一見弾薬浪費の感あるも射撃の技能  
は旧日本歩兵に優る

三、ソ軍幹部以下の素質

1. 将校は素質優秀にして、役員たるの自覚と誇りを

有しあるも、然らざるものは旧日本将校の中以下の程度と認む

2. 将校以下責任を重んずる観念心強し、責任感は階級を

超越しあり又責任の存する所他人の希望、迷惑の如き全く

顧慮外なり

3. 戦車兵は素質優良の者を選定しあるか如し概して細心にして

豪胆なり（オ三の三の二八月十四日の戦斗参照）

4. 狙撃兵の素質は概して劣等なるも射撃手の技術は概して

優劣あり

三、ソ軍の兵器、資材

ソ軍の兵器は外觀荒削りにしてお粗末の感あり外面の仕上

りを省略し機能本位とせる為ならん戦場に於ける戦車の

4410 活動状態、小銃射撃の精度等より觀察するに其の機能

に於て遺憾の点なきが如し

る歩兵の装備は一般に優良にして自動短銃を所持せるもの多し

行李輕重輕易にして各人の携行品は武器、彈藥、外アルミ製衣が鉄製の食器を有し雜物の、北目のう、天幕、予備靴、水筒等を有せず極めて身輕なり

3. 砲兵は輓馬編成のもの少く機械化せられたるもの多し牽引自動車の如き一種類にしてソ聯の抑留生活中エルホース農場等にて見たる農耕用のものと同型なり

4. 戦車兵はソ軍の華とて調ふべきか戦車の性能に於て其の保有量に於て世界一を以て自負しあるものなり就中T34型は主力戦車にして其の數最も多し機動性、攻撃力(主砲は野砲級なるも砲身を長くし裝藥量も多くして初速を大ならしめ弾丸の威力を増加しあるが如し)防禦力に調和のとれたる戦車にして最も優良なり



5 行李輜重は一般に輕易なり又輸送機關も駄馬、輜重車少く自動化車多し

彈藥の保有量極めて豊富にして且惜しみなく使用す  
みか如し火力を最も重視するノ軍として蓋し当然のこと  
ならん

#### 四、我が方の教訓事項

1 敵戦車擱坐するも内部の乗員は健在なること多きを以て徹底せる處理を必要とす（オ三の三の二八月十三、十四日の戦斗  
参照）

2 B4級の戦車に対する肉攻に於ては爆藥少くも一聯を使用し且戦車の底面を攻撃せざれば何等の效果なし

6210 飛行機用の十五センチ爆彈（十五センチは全重量にして藥量は  
ら）を以て同戦車の側壁を攻撃したるも何等の效果なし

3 ノ軍機甲部隊の弱點は夜間をり晝間攻撃に於て相違  
我況進展せる状況に於ても夜間に至れば後退して宿營に就

くを例とせり之を夜籠衣し大混乱に陥れたる事あり是夜暗を  
利用せば本軍の離脱も比較的容易なり

4ノ軍の参戦近きを豫想し乍ら岩倉、彈薬の築城地帯  
への運搬及部隊の平時配置の変更等を急務たるは太なる  
失敗なり之を實行する為には幾多の困難ありしものと想像  
するも何れを措いても先づ断行を要せしものなり

5 築城完成遅延の原因は各種あらんも資材の缺乏は其  
の一因なり然るに當時経理部関係の建築用資材にして  
流用し得べきもの(木材セメント等)各所に多量に貯蔵し  
ありたるに拘らず規則上不可として之が流用を許さず其の  
まゝノ軍に提供せし状態なり

6 築城作業に於てノ軍を対象するとき対戦車施設を先決  
とすべしに拘らず全く之を等閑に付しノ軍戦車を以て無人  
の境を行くが如く行動せしめたるは大なる誤なり

0810  
7 敵の絶対制空下に於て晝間の退却は天候、気象、地形等特別  
の條件存在せざる限り可能性に乏し(才三の三の分参照)

陸  
軍

1008

